ワイヤレスリモコン・ワイヤレス受信部 据付説明書

PJF012D505
201808

三菱重工

安全上のご注意

●工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。
状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
●本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

- ❗ **●据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。**
  ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
- ❗ **●据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。**
  据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
- ❗ **●据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。**
  当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
- ❗ **●据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。**
  強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
- ❗ **●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。**
  電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- ❗ **●据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。**
  感電、故障や動作不良の原因になります。
- ⃠ **●改造は絶対にしない。**
  感電、火災、故障の原因になります。
- ❗ **●修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。**
  修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
- ⃠ **●特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。**
  油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。
- ⃠ **●大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。**
  感電、火災、故障の原因になります。
- ⃠ **●洗濯室など水のかかる所では使用しない。**
  感電、火災、故障の原因になります。
- ⃠ **●ぬれた手で操作しない。**
  感電の原因になることがあります。

⚠ 警告

- ⃠ **●本機を水洗いしない。**
  感電、火災、故障の原因になります。
- ❗ **●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。**
  接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- ❗ **●病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。**
  インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
  リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。
- ❗ **●基板のケースを取り外したまま放置しない。**
  水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

- ⃠ **●ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。**
  ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。
  (1) 直射日光の当たる場所
  (2) 発熱器具の近く
  (3) 湿気の多い所・水のかかる所
  (4) 取り付け面が発熱・結露する場所
  (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
  (6) 取り付け面に凹凸がある所
  (7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所
  (8) 蛍光灯（特にインバータータイプ）の近くあるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
  (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
  (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所

① 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部
LA-TC-5W

① 受信部		1	⑤ ブラケット取付用ネジ		1
② 基板		1	⑥ 配線（通信用）		1
③ 基板取付用サポート		2	⑦ 配線（受信用）		1
④ ブラケット（板金）		1	⑧ 据付説明書		1

ワイヤレスリモコン（別売品）
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダー		1
③ 同上用木ネジ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

② 取り付け前の準備

基板の設定

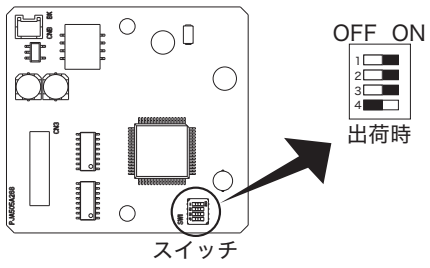
付属品の基板上のスイッチの設定は右記の通りです。
なお、出荷時の設定は ▭ で囲まれた設定になっています。

SW1	複数台設置時の混信誤動作防止	ON：通常 / OFF：切換
SW2	受信部の親子切換	ON：親 / OFF：子
SW3	ブザー音	ON：有効 / OFF：無効
SW4	停電補償	ON：有効 / OFF：無効

② 取り付け前の準備の続き

現地設定の変更方法

1. 付属品の基板上のスイッチを変更してください。



2. SW1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更 してください。
   設定変更は、本説明書 ④ワイヤレスリモコン の 混信防止設定 をご覧ください。
※受信可能範囲は、本説明書 ⑤受信部 をご覧ください。

複数リモコン使用時の親子設定

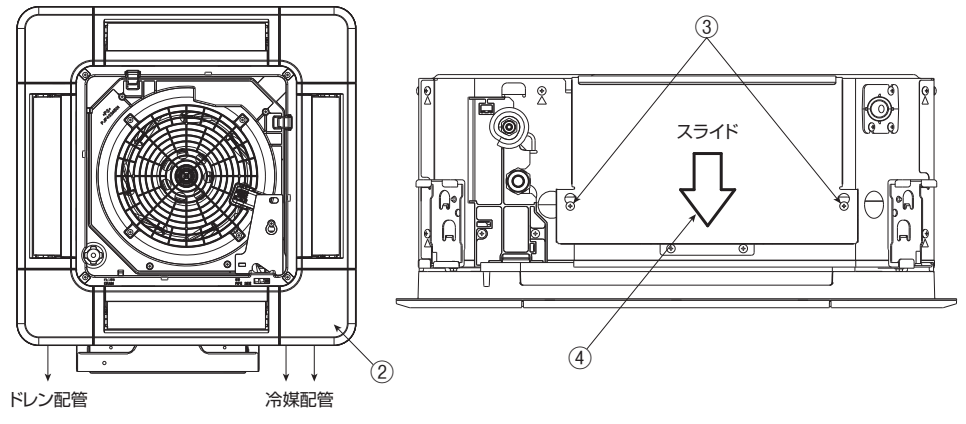
1 つのグループに対して最大 2 個までワイヤレスリモコン（受信部）・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は、いずれか一方を、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

③ 受信部の取り付け

本ワイヤレスキットの受信部は、対応パネルのコーナリッドと交換することにより取り付け可能です。

取り付け前の準備

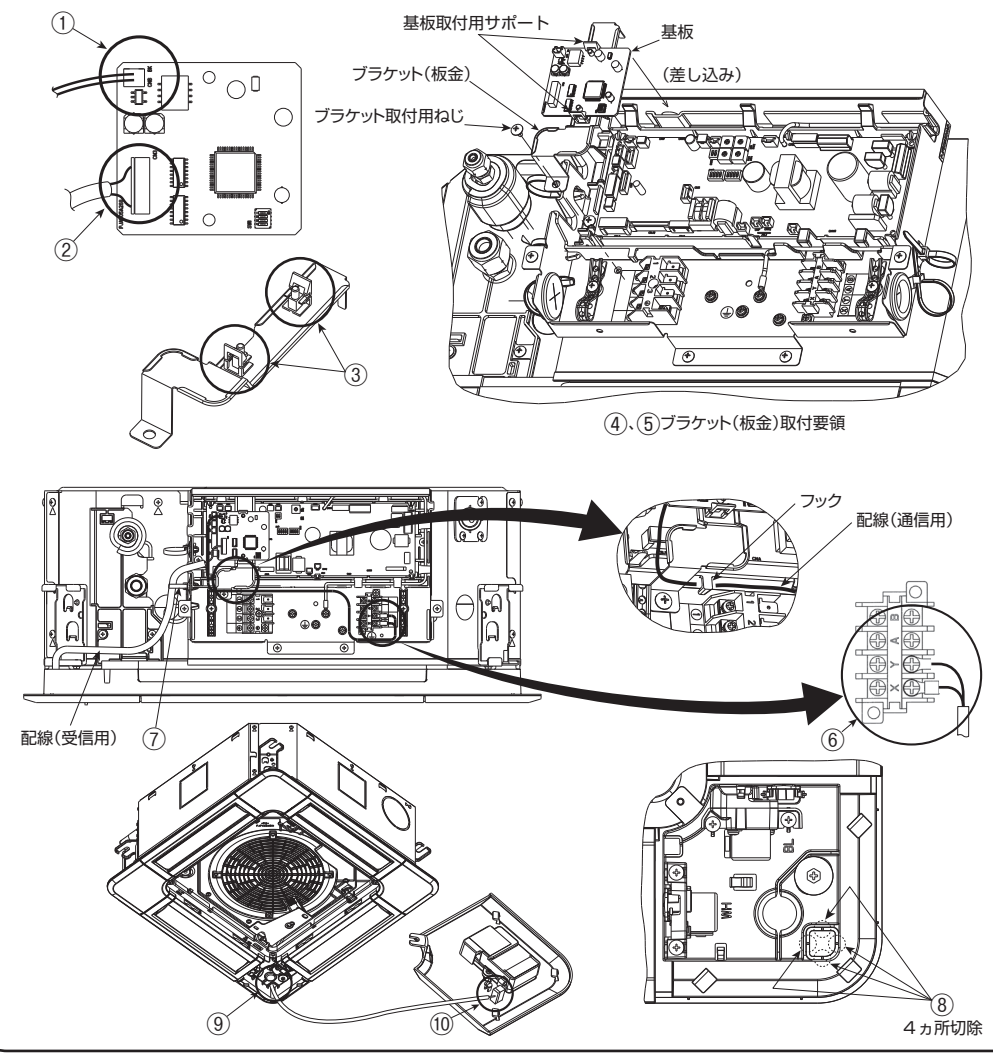
① パネル据付説明書に従って、吸込グリルを取り外してください。
② 冷媒配管側のコーナリッドを取り外してください。
③ ユニット本体の制御箱の蓋のねじ（2 本）を緩めてください。
④ 制御箱の蓋を図の矢印方向にスライドさせて、取り外してください。



③ 受信部の取り付けの続き

受信部の取り付け

① 配線（通信用）のコネクタを基板の CNB に接続してください。
② 配線（受信用）のコネクタを基板の CN3 に接続してください。
③ ブラケット（板金）に基板取付用サポートを取り付けてください。
④ 基板取付用サポートに基板を取り付けてください。
⑤ 図のようにブラケット（板金）を制御箱片側に差し込み、もう片側をねじで締め付けてください。
⑥ 配線（通信用）の丸端子を制御箱内の端子台（X、Y）に接続してください。配線に極性はありません。
⑦ 図のように配線をバンドで固定してください。
⑧ 図に示すパネルのハーフブランク（4ヵ所）を切除してください。
⑨ 配線（受信用）をパネル開口部に通してください。
⑩ 配線（受信用）と受信部のコネクタを接続してください。
⑪ 受信部をパネル据付説明書に従って、パネルに取り付けてください。
⑫ 配線を噛み込まないように制御箱の蓋を取り付け、ねじ（2 本）で締め付けてください。

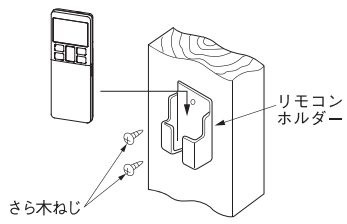


④ ワイヤレスリモコン

リモコンホルダーの据付

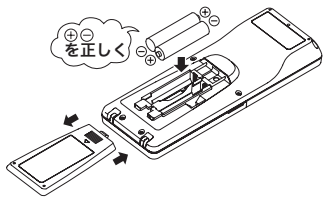
リモコンホルダーを付属のねじで固定してください。

※ホルダー取り付け時の注意
・垂直になるよう調節してください。
・ねじ頭が出ないようにしてください。
・土壁等へは取り付けないでください。



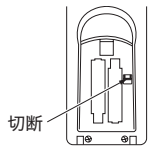
電池の入れ方

1. 裏蓋を外します。
2. 乾電池を入れます。(単四 2 本)
3. 裏蓋を取り付けます。



混信防止設定

1. リモコンの裏蓋をはずし、乾電池を取り外す。
2. 乾電池横の切換線をニッパー等で切断する。
3. 乾電池を入れて、裏蓋を取り付ける。



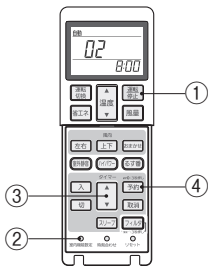
リモコンの設定変更

自動運転の設定変更のしかた
ビル空調・ガスヒートポンプシリーズ（除く冷暖フリーマルチ）は自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合は、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取り外すと初期設定（工場出荷時設定）へ戻ります。
電池を取り外した時は、再度上記操作を行ってください。

室内機能設定

1. 室内機能設定のしかた
① 運転 / 停止を押し、停止状態にする。
② 室内機能設定スイッチを押しながら、2 項に示すボタンを押す。
③ 選択ボタン▲、▼で設定を変更する。
④ 予約ボタンを押す。
リモコン信号受信部より、ピッピッと 2 回ブザーが鳴り、
LED は 2 秒毎に 4 回点滅します。



④ ワイヤレスリモコンの続き

2. 設定内容
機能設定が可能な項目は下記となります。

ボタン	番号表示部	機能設定
風量	00	風速設定：標準
	01	風速設定：設定 1　※
	02	風速設定：設定 2　※
運転切換	00	暖房室温補正：無効
	01	暖房室温補正：＋ 1℃
	02	暖房室温補正：＋ 2℃
	03	暖房室温補正：＋ 3℃
フィルタ	00	フィルターサイン表示：なし
	01	フィルターサイン表示：180 時間
	02	フィルターサイン表示：600 時間
	03	フィルターサイン表示：1000 時間
	04	フィルターサイン表示：1000 時間後運転停止
上下	00	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：無効
	01	ドラフト防止設定（エアフレックス設定）：有効
室外静音	00	赤外線センサー設定（人感センサー設定）：無効
	01	赤外線センサー設定（人感センサー設定）：有効
ハイパワー	00	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：無効
	01	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：パワーコントロールのみ
	02	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：オートオフのみ
	03	赤外線センサー制御（人感センサー制御）：パワーコントロール+オートオフ
入	00	冷房ファン残留運転：無効
	01	冷房ファン残留運転：0.5 時間
	02	冷房ファン残留運転：2 時間
	03	冷房ファン残留運転：6 時間
切	00	暖房ファン残留運転：無効
	01	暖房ファン残留運転：0.5 時間
	02	暖房ファン残留運転：2 時間
	03	暖房ファン残留運転：6 時間
るす番	00	リモコン信号受信部 LED：輝度明
	01	リモコン信号受信部 LED：輝度暗
	02	リモコン信号受信部 LED：消灯
省エネ	0.1	グリル自動昇降下長：0.1 m
	0.2	グリル自動昇降下長：0.2 m
	・	・
	・	・
	2.0	グリル自動昇降下長：2.0 m
	・	・
	・	・
	3.9	グリル自動昇降下長：3.9 m
	4.0	グリル自動昇降下長：4.0 m
運転 / 停止	50	グリル自動昇降周波数：50Hz
	60	グリル自動昇降周波数：60Hz

※　詳細は技術資料を参照ください。

⑤ 受信部

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

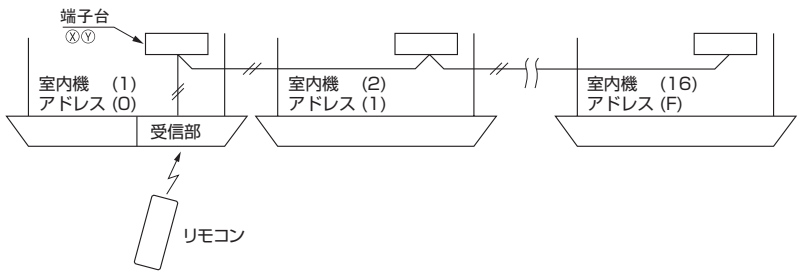
1. 1 つのリモコンで複数台のユニット（最大 16 台）をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。

2. グループ制御用に各室内ユニット間を
2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

渡り配線の太さと長さの制限（最大 600m）	
標準	0.3 mm^2 × 100m 以内
	0.5 mm^2 × 200m 以内
	0.75mm^2 × 300m 以内
	1.25mm^2 × 400m 以内
	2.0 mm^2 × 600m 以内

店舗シリーズの場合

室内基板上のロータリスイッチSW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。

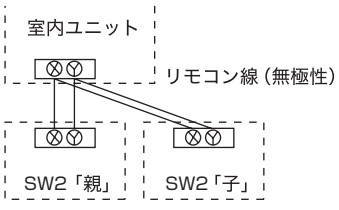


ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

室内・室外No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上のロータリSW1、SW2により、室内No. を重複しないように設定してください。

複数リモコン使用時の親子設定

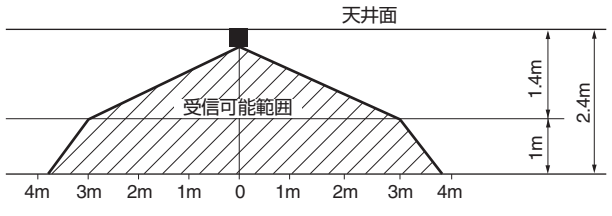
室内ユニット 1 台（又は 1 グループ）に対して最大 2 個までのリモコンを接続できます。



スイッチ	設定	機能内容
SW2	ON	親リモコン
	OFF	子リモコン

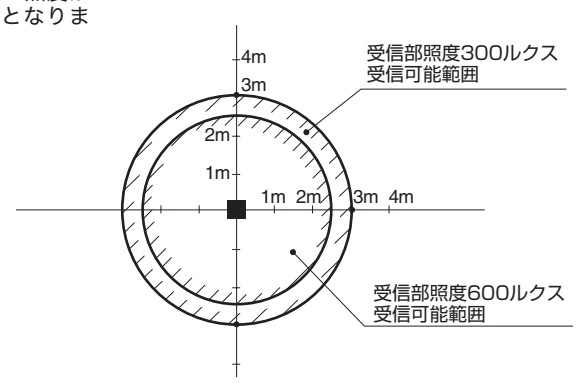
ワイヤレスリモコンの操作距離

1. 標準的な受信距離
［条件］受信部照明度 300 ルクス
（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）



⑤ 受信部の続き

2. 平面から見たときの受信部照度と受信距離の関係
［条件］天井高さ 2.4m、床面より 1m の高さより、リモコン操作した場合の受信部照度と受信距離との関係を右図に示します。 照度が 2 倍になると受信距離は 2 ／ 3 となります。

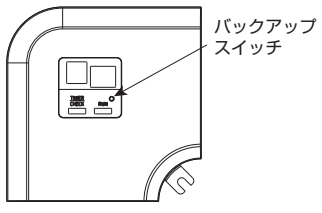


3. 複数台近接設置の注意
［条件］受信部照明度 300 ルクス
（一般事務所で受信部周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合）
［複数台近接設置］リモコン使用時の同一動作を防止できる最小距離は 5m です。

バックアップスイッチ操作

表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。
ワイヤレスリモコン操作ができない場合（電池切れ、紛失、故障）に応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

1. 停止中に押すことにより自動モード（冷専は冷房モード）で運転します。
風量「急」　温度設定「23℃」　ルーバ「水平」
2. 運転中にバックアップスイッチを押すことにより「停止」します。



冷房試運転操作

● 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
● 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
● 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼り付けの結線銘鈑の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

受信部は 2 桁表示（7 セグ）を装備しています。

1. 表示は電源投入後 1 時間表示します。
2. リモコンから「停止」送信又は、バックアップスイッチ「停止」操作後 3.5 秒間表示します。
3. 上記の表示は、運転開始とともに消灯します。
4. 異常履歴がない場合は接続台数分のアドレスを表示します。
5. 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
6. 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらリモコンから「停止」送信によりクリアされます。